

「神戸づくりの指針」素案からの主な変更点

主な変更点	部・章	ページ
○ 神戸を取り巻く社会・経済の動き ～現状の認識～ について 「世界の現状、日本の現状、神戸の現状」への再編成と「現状から見えてくること」の追加	1部の1 1部の2	7～17 18～19
○ 世帯規模の縮小や家族機能の変容について 第1部に「世帯規模の縮小や家族機能の変容」の現状及びそこから見える取り組みの追加と、第2部に「家族の機能を支えること」や「多世代家族を含めたライフスタイルに応じた住まいの選択が可能なくみづくり」を追加	1部 参考資料 2部1章 2部2章	8、18 91 26 28
○ 「デザイン都市・神戸」の実現について めざす姿と手法を整理し、『『デザイン都市』神戸を都市像としてめざす』旨と、「まちの活性化の手法として、「デザイン」の視点で捉える」旨を追加	1部	20
○ 「経済を発展させる」に関する項目の整理とサービス業の追記について 地域の「暮らしに身近な産業の振興」すること、国内外への「ものづくりを核に高付加価値化を図る」こと、国内外からの「観光交流と企業誘致を進める」ことへの項目整理及びタイトルの変更。並びに、サービス業の追記	2部4章 2部5章	33 34～35
○ 「子どもを健やかに育む」について ともに進める取り組みの目的と手法の記述の充実	3部2章	42～43
○ 再生可能エネルギーの有効利用等のためのICTの活用について 「再生可能エネルギーの有効利用などのためのシステム導入の検討」の追加	4部3章	57
○ 六甲山の重要性について みどりのゾーンの記載において「六甲山系が神戸を特徴づける貴重な資源であり、市民にとってのかけがえのない財産である」旨の追加 また、下記についても既に位置づけている。 ・ 指針の冒頭での神戸を形作る自然環境としての位置づけ ・ オンリーワンの観光資源としての位置づけ ・ 水と緑など自然環境を活かしたまちづくりの位置づけ ・ CO2の吸収源としての位置づけ ・ 神戸を象徴するエリアとしての位置づけ	5部1章 はじめに 2部6章 4部2章 4部3章 7部2章	60 1 37 54 57 86
○ 国際コンテナ戦略港湾について 産業集積および物流機能の向上の観点から、国際コンテナ戦略港湾の記載の充実	2部6章 5部1章 5部3章	37 61 69
○ 地域支援のための体制強化（区長権限・行政区のあり方）について 「区長権限のあり方の見直し」と「分区・合区など行政区のあり方の検討」の記載の追加	6部3章	77
○ 多様な「ひと」が集い・交わり・活きるまちについて 「協働と参画をもとに都市ぐるみで多様性が活きるまちづくりを行う考え方（ダイバーシティ・マネジメント）」の整理と、それに伴うタイトルの変更及びともに進める取り組みの再編集	7部1章	82～84
○ 協創の考え方について 都市戦略である「協創」の考え方の整理及びタイトルの変更	むすび	89